

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業【総括表】	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習講座の開設によるひとづくり					
対象	市民及び市内在勤者					
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・石鳥谷・東和の各総合支所での生涯学習講座の開設 ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ○地域（27コミュニティ）で実施する生涯学習事業を支援・・・地域生涯学習交付金						
市民参画の有無 [無]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
市民協働の形態		事業協力・協定		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	講座開催数	回	計画	350	320	
			実績	329	316	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標	80.0	90.0	
			実績	99.2	97.5	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・学習機会の提供、きっかけづくりにより、成果として市民の生涯学習活動への意欲醸成の達成度を測る指標として指標設定したものであるが、内容の充実した講座等を開設した結果、9.0%を超える高い割合を達成した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市民のライフスタイルや生活課題が多種多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとづくりにつながり妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	妥当でない
有効性	成果の向上余地	・生涯学習機会を提供することにより、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心や連帯感の向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネート、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である。 ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	<input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括		
○生涯学習のきっかけづくりや学習機会を提供する各種講座の開催を通じて、自主学習への関心が高まっている。		
○継続して学習機会の提供を行っていくとともに、併せて地域での主体的・自主的な生涯学習活動を支援していくことが重要である。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業【総括表】

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		24,082	23,545		△ 537
財源内訳	国・県				
	地方債	1,000	1,200		200
	その他				
	一般財源	23,082	22,345		△ 737

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。

事業概要

○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・石鳥谷・東和の各総合支所での生涯学習講座の開設
 ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設
 ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設
 ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設
 ○地域（27コミュニティ）で実施する生涯学習事業を支援・・・地域生涯学習交付金

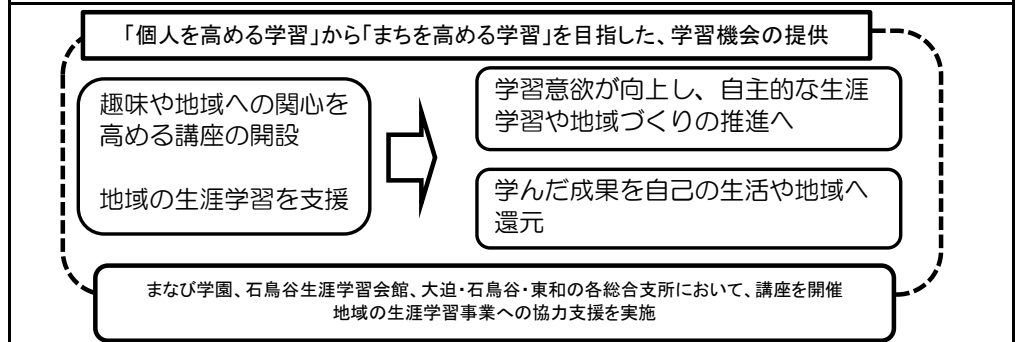
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

27地域（振興センター地域）における生涯学習推進事業については、平成28年度から各地域コミュニティ会議が実施主体となり実施いただいているが、市としても、継続して連携しながら企画運営に携わるとともに各コミュニティの生涯学習担当者の育成を支援する。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 上野 剛 内線 401

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①富士大学花巻市民セミナー 51千円

報償費46、需用費2、役務費3

【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進口

【講座数】H28 1講座6回 まなび学園で開催

②岩手大学教育学部出前講座（ゼロ予算）

【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進

③高齢者学級開催事業 1,533千円

賃金4、報償費845、旅費47、需用費449、役務費33、使用料及び賃借料155

【概要】60歳以上の市民を対象とした、趣味や生きがいなどを目的とした講座開催

【講座数】H28 4講座197回

④女性学級開催事業 173千円

報償費143、需用費18、役務費10、使用料及び賃借料2

【概要】家庭や地域社会で心身ともに豊かで明るく楽しく生活していくために、必要な知識や体験を、多様な学習活動を通じて学びあう。

【講座数】H28 4講座24回

⑤市民講座開催事業 1,151千円

報償費473、需用費316、役務費62、委託料299、使用料及び賃借料1

【概要】初めての生涯学習の支援、趣味や地域的課題など、初心者向けの講座

【講座数】H28 17講座71回

⑥地域支援室（石鳥谷）生涯学習事業 81千円

報償費52、需用費29

【概要】主に子どもを中心とした講座の開催により、子どもの育成や成長を図る。

【講座数】H28 4講座13回

⑦地域生涯学習事業支援 4,071千円

【概要】地域コミュニティで実施する地域生涯学習事業を支援（交付金の交付、研修実施）

地域生涯学習交付金3,736（花巻：11コミュニティ 2,002、大迫：4コミュニティ 451、石鳥谷：6コミュニティ 435、東和：6コミュニティ 848）、研修実施8、自動車借上327千円

⑧共通経費（社会教育指導8人等）16,485千円

報酬14,152、職員手当254、共済費2,079